

平成29年度 鹿児島純心女子大学免許状更新講習実施要領

1. 目的 鹿児島純心女子大学では、教育職員免許法の改正に伴い、教育職員として必要な資質、能力が保持されるよう、最新の知識技能を身に付ける機会を提供することを目的として、文部科学省の認定を受けて免許状更新講習を実施します。
2. 受講対象者 ①平成31年3月31日までに修了確認期限を迎える現職教員等で、満35歳・45歳・55歳の方。なお、修了確認期限及び受講対象者については、文部科学省ホームページで確認できます。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm
②栄養教諭免許状を所持する現職教員等で、平成31年3月31日までに修了確認期限を迎える方(平成19年4月1日から平成21年3月31日までに栄養教諭の普通免許状を授与された旧免許状所持者)。
3. 講習期間 ①【必修領域】「全ての受講者が受講する領域」
平成29年8月5日(土)1講習, 6時間(1日)
②【選択必修領域】「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」
平成29年8月7日(月)2講習, 各6時間(各1日)
③【選択領域】「受講者が任意に選択して受講する領域」
平成29年8月8日(火)～8月10日(木)6講習, 各6時間(各1日)
④予備日: 台風等の天候上の理由等により上記①②③を休講・延期した場合
平成29年8月18日(金)
4. 講習概要 別紙1, 別紙2のとおり
5. 受講料 【必修領域】、【選択必修領域】、【選択領域】 1講習あたり 6,000円
6. 開催地 鹿児島純心女子大学 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地
7. 募集期間 平成29年5月8日(月)10:00～6月30日(金)19:00
8. 受講申請・受講者決定 ①鹿児島県内における講習開設大学共通の「教員免許状更新講習管理システム-KUAS-」を用いたwebによる受講申請【先着順】

本学ホームページに「教員免許状更新講習管理システム」へのリンク等、関連情報を掲載しておりますので、トップ画面右上の「訪問者別メニュー」から「一般・社会人の方へ」を選択の上、「教員免許状更新講習のご案内」をご一読ください。

②「教員免許状更新講習管理システム-KUAS-」を利用して受講申請及び必要書類のプリントアウトを行った上で受講料の納付を済ませ、申込書類一式をお送りください。本学にて書類及び入金の確認後、申込書受理メールの送信をもって受講者決定となります。

- 9. 受講・試験** ①更新講習管理システムに掲載されるシラバス（講義概要）を確認の上、講習当日は「受講票（顔写真[スナップ写真不可]を貼り、所属長等による証明を受けたもの）」及び筆記用具の他、指定された用具・テキストなどを持参してください。
 ②試験は講習時間内で実施します。
 ③講習終了後には講習の事後評価に係るアンケート調査を書面にて行います。
 （更新講習管理システムを用いての事後アンケートは入力不要）

- 10. 休講・延期等** ①台風等の天候上の理由、講師の急病等により講習を休講せざるを得ない場合、延期して予備日などに開講します。
 ②原則として受講希望者が6名以下の場合、開講困難とし開講しません。
 ③休講・延期等の連絡は可能な限りメール配信や電話、ホームページ掲載を行います。

- 11. 受講料返還** 受講料納入後、下表のキャンセル事由等により1講習の全てを受講できなくなった場合は、納入者からの請求に基づき、納入額の全額または一部を納入者の口座へ返還します。該当者は「教員免許状更新講習受講料返還請求書」を速やかに提出してください。特に⑤の場合には、受講資格証明者（校長等）の押印が必要です。
 なお、指定された期日を過ぎてから連絡のあった場合には返還できません。

キャンセル事由		納入額の返還
①	講師の急病などにより延期が不可能で、講習を中止した場合	全額返還
②	受講希望者が6名以下で、講習を開講しなかった場合	
③	台風等の天候上の理由などにより、講習が延期されたことにより辞退する場合 ※延期後の開講日での受講を了承した場合を除く	受講料から振込手数料を差し引いた金額を返還
④	公共交通機関の異常運行等により、受講できなかった場合（講習日から3日以内に連絡すること）	
⑤	受講者にやむを得ない事情が生じた場合 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務校の業務、葬儀（二親等以内）の場合（前日までの連絡に限る） ・急病（家族を含む）等により受講できなかった場合（講習日から3日以内に連絡すること） ※受講資格証明者（校長等）の押印が必要	
⑥	その他の事由（受講開始後のやむを得ない事情による早退等を含む）により受講しない場合	返還なし

- 12. 履修証明書** 各講習の履修認定試験において合格基準に達した方には、当該講習の「履修証明書」を9月末日までに本人宛に送付いたします。

- 13. 個人情報取扱** 本学が取得した受講者に関する個人情報は、更新講習に係る業務に使用する場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

- 14. 担当窓口** 鹿児島純心女子大学 教員養成センター

〔受付時間〕 月～金（9:15～17:00）＊祝祭日・大学休業日を除く
 〔住所〕 〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地
 〔TEL〕 0996-23-5311（代表）
 〔FAX〕 0996-23-5030（代表）
 〔E-mail〕 kyoinyosei@jundai.k-junshin.ac.jp
 〔ホームページ〕 <http://www.k-junshin.ac.jp/jundai/>

平成29年度 【必修領域】 及び【選択必修領域】に関する免許状更新講習一覧

1. 開設者名 : 鹿児島純心女子大学
2. 講習の開催地 : 鹿児島純心女子大学(鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地)
3. 受講者募集期間 : 平成29年5月8日～平成29年6月30日
4. 受講申込方法 : 「教員免許更新講習管理システム-KUAS-」を利用したweb申込(先着順) <https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/kagoshima/>
5. 担当窓口 : 教員養成センター TEL 0996-23-5311(代表) FAX 0996-23-5030(代表)
6. 窓口受付時間 : 月～金(9:15～17:00)

【必修領域】「全ての受講者が受講する領域」

番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講料	受講人数	認定番号
1	【必修】教育をとりまく状況の変化への対応	以下の内容について、最新の研究動向に即した講習を行う。 ①発達障害や多様な心理的不適応などへの対応について、カウンセリングの最新の知見、②国の教育政策(学校を巡る近年の状況・学習指導要領の改訂の動向等・法改正および国の審議会の状況等)や世界の教育の動向、③近年の教職研究において提示されてきた諸概念。	広瀬 健一郎(国際人間学部 准教授) 栗原 真孝(国際人間学部 准教授) 石井 宏祐(佐賀大学 教育学部 准教授)	6時間	平成29年8月5日	6,000円	120人	平29-30615-100499号

【選択必修領域】「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者		受講料	受講人数	認定番号
						学校種	免許種 勤務年数			
1	【選択必修】学校の内外における連携協力についての理解	学校における危機管理の観点から、学校内外の連携協力の在り方について理解を深め、最新の研究動向に即した講習を行う。	島 立久(国際人間学部 教授)	6時間	平成29年 8月7日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	6,000円	70人	平29-30615-301120号
2	【選択必修】初等教育における近年の状況の変化	近年の学校等をめぐる状況について、こどもの学力と教員の資質のふたつ観点から講習を行う。また、法令改正等国の政策状況について、最新の研究動向に即した内容を取り扱う。	広瀬 健一郎(国際人間学部 准教授) 栗原 真孝(国際人間学部 准教授)	6時間	平成29年 8月7日	幼稚園 小学校	教諭, 勤務年数は 特定しない	6,000円	50人	平29-30615-301121号

平成29年度 【選択領域】 「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習一覧

1. 開設者名 : 鹿児島純心女子大学
2. 講習の開催地 : 鹿児島純心女子大学(鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地)
3. 受講者募集期間 : 平成29年5月8日～平成29年6月30日
4. 受講申込方法 : 「教員免許更新講習管理システム-KUAS-」を利用したweb申込(先着順) <https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/kagoshima/>
5. 担当窓口 : 教員養成センター TEL 0996-23-5311(代表) FAX 0996-23-5030(代表)
6. 窓口受付時間 : 月～金(9:15～17:00)

番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	認定番号
1	【選択】小学校外国語活動を踏まえた中学校英語の課題と展望	本講習は、学習指導要領の小学校外国語活動を中心にして、中学校英語との連携を図る方策について述べる。外国語活動のワークショップを体験し、今後の小中学校での指導のあり方について概説する。	影浦 攻(副学長・教授) 川上 典子(国際人間学部 教授)	6時間	平成29年8月8日	教諭	小学校教諭 中学校教諭(英語)	6,000円	50人	平29-30615-503778号
2	【選択】児童生徒の栄養学(食教育の実際)	近年、食の多様化が著しく、それに伴い子ども達の食にまつわる環境も変化しつつある。 本講習では、学童期、思春期の子どもの「食」の現状について知り、実際に子ども達への食教育をどのように実施していけばよいか考える。	今村 佳代子(看護栄養学部 講師)	6時間	平成29年8月8日	教諭 養護教諭 栄養教諭	教諭(保健体育) 養護教諭 栄養教諭	6,000円	50人	平29-30615-503779号
3	【選択】教育現場でのデータ処理活用法	教育現場において必要とされる文書作成・データ加工など一連の手法・技術を習得し、活用していくことを目標とします。ワードの基本操作(日本語入力)の出来る方が対象で、講習は例題形式をとり必要な技術を解説しながら問題解決していきます。教材となる表作成や、いろいろな事例をもとに必要な関数(主にIF関数やvlookup 関数など)を利用したデータ作成の技術と活用法を学びます。	洞田 勝博(国際人間学部 教授)	6時間	平成29年8月9日	教諭 養護教諭 栄養教諭	教諭(小・中・高) 養護教諭 栄養教諭	6,000円	40人	平29-30615-503780号
4	【選択】多文化共生論	本講義は、主に北米社会を題材にして、多文化共生の実現のためには、異文化間相互の関係を史的に理解することが重要であることを、北米史を辿りながら探求する。北米大陸に居住する多様な民族が、いかに接触し、共存を可能とする社会をいかに構築しようとしてきたかを、先住民族、アフリカ系、中国系、日系の住民等に焦点をあてながら論ずる。	広瀬 健一郎(国際人間学部 准教授)	6時間	平成29年8月9日	教諭	中学校・高校教諭 (社会及び英語)	6,000円	50人	平29-30615-503781号
5	【選択】生徒指導実践と教師の在り方	すべての教育活動の基盤に生徒指導が存在している。生徒指導実践力は教師であり得るための不可欠な要素と言える。「生徒指導で求められる教師の資質と技能」、「生徒指導実践力を高める研修の在り方」、「生徒指導の側面からの教科指導の課題」、「危機管理の観点からの生徒指導」等を通して、教諭として、養護教諭として、さらに栄養教諭として日常的に生徒指導を実践できる力について考える。	獅子目 博文(国際人間学部 教授)	6時間	平成29年8月10日	教諭 養護教諭 栄養教諭	教諭(小・中・高) 養護教諭 栄養教諭	6,000円	60人	平29-30615-503782号
6	【選択】異文化理解と外国語教育	ソ連崩壊後、世界のグローバル化が一気に加速したかに見えたが、イギリスのEU離脱、トランプ米大統領の誕生はグローバル化の終りの始まりであり、世界が国家主義化に逆戻りする現象と捉えられる。本講義では、中東問題を含む現在の世界事情の原因を過去の歴史と地政学に求め、異文化間の接触とは何か、外国語教育と自国文化について考察していきたい。	尾曲 巧(国際人間学部 教授)	6時間	平成29年8月10日	教諭	教諭(小・中・高)	6,000円	40人	平29-30615-503783号